

第2回 横浜市瀬谷区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和7年3月25日（火） 午後1時00分から午後6時00分まで
開 催 場 所	瀬谷区役所5階大会議室
出 席 者	【選定委員会委員】 委員長 横山 順一 日本体育大学 教授 委員 青木 俊太郎 瀬谷第二地区民生委員児童委員協議会副会長 越後屋 幸子 阿久和北部地区民生委員児童委員協議会会長 尾崎 博信 瀬谷第四地区民生委員児童委員協議会副会長 加世田 恵美子 認定 NPO 法人市民セクターよこはま第三者評価事業部長 加藤 由紀子 一般社団法人横浜市介護支援専門員連絡協議会代表理事 嶋貫 綾 嶋貫綾税理士事務所 橘 小末 宮沢地区民生委員児童委員協議会会長 仁平 廣 細谷戸地区民生委員児童委員協議会会長 山野上 啓子 認定 NPO 法人横浜移動サービス協議会副理事長 【事務局】 瀬谷区福祉保健センター長 木村 洋 瀬谷区福祉保健センター担当部長 長井 真 瀬谷区福祉保健課長 瀬戸 晶子 瀬谷区福祉保健課担当係長 柿澤 薫 瀬谷区福祉保健課運営企画係 菊地 泰子 瀬谷区福祉保健課事業企画担当 矢嶋 昌子
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（応募団体の面接審査及び、横浜市二ツ橋地域ケアプラザ指定管理者の公募（3回目）における公募要項等の審議について非公開）。（傍聴者0人）
議 題	1 開会 2 第2回選定委員会の開催について （1）会議の公開・非公開 （2）傍聴者の有無 （3）本日のスケジュール （4）前回議事の確認 （5）採点の流れ 3 事務局から応募書類による調査結果について （1）暴力団関係者の有無 （2）市税滞納の有無 （3）法人財務状況評価の結果 4 応募団体の面接審査

	(1) 横浜市二ツ橋第二地域ケアプラザ (2) 横浜市阿久和地域ケアプラザ (3) 横浜市中屋敷地域ケアプラザ (4) 横浜市下瀬谷地域ケアプラザ 5 意見交換 第6期選定における改善点 6 審査結果と講評 (1) 総得点の発表と指定管理者の候補者（以下「指定候補者」という。）の決定 (2) 指定候補者への御意見等 (3) 指定管理者となるまでの流れ 7 横浜市二ツ橋地域ケアプラザ指定管理者の公募について (1) 公募要項その他の関係書類の内容 (2) 第3回選定委員会について 8 その他 (1) 公募要項の修正及び議事録の作成について (2) 選定委員の委嘱期間の確認
決 定 事 項	・第2回選定委員会審議事項のうち、「議題7 横浜市二ツ橋地域ケアプラザ指定管理者の公募について」を非公開とすることを決定。 ・指定管理者の候補者及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者（以下「次点候補者」という。）として、次のとおり、横浜市瀬谷区長に報告することとする。 1 横浜市二ツ橋第二地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 次点候補者：なし 2 横浜市阿久和地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人湘南友愛会 次点候補者：なし 3 横浜市中屋敷地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人誠幸会 次点候補者：なし 4 横浜市下瀬谷地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人同塵会 次点候補者：なし ・横浜市二ツ橋地域ケアプラザ指定管理者の公募（3回目）における公募要項等について、事務局案のとおり決定した。また評価基準、審査方法及び最低制限基準、公募条件については前回公募から変更しないことを決定した。 ・第3回選定委員会について、応募団体の面接審査を非公開とすることを決定した。

議 事	1 開会 事務局から、公募の結果4つの地域ケアプラザに対し、各1団体から応募書類の提出があった旨を報告した。 2 第2回選定委員会の開催について (1) 会議の公開・非公開 ・応募団体の独自のノウハウが含まれる可能性があるため、応募団体の面接審査について非公開とすることについて確認した。(第1回選定委員会で審議済み) ・「議題7 横浜市二ツ橋地域ケアプラザ指定管理者の公募について」について非公開とする案を説明した。 ・委員の発言者個人名は議事録へ記載しないことを確認した。 ・会議の公開・非公開について事務局の案のとおり決定した。 (2) 傍聴者の有無 傍聴者の申込がなかったことを確認した。 (3) 本日のスケジュール ・第2回選定委員会のタイムスケジュールを説明。 ・面接審査は、プレゼンテーション10分、質疑応答10分、最終的な結果の記入等に10分とし、入れ替えを含め、1団体あたり計35分であることを説明した。 (4) 前回議事の確認 ・第1回選定委員会議事録の確認と瀬谷区の特徴を説明した。 (5) 採点の流れ ・採点の流れ、面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・最高点をつけた委員及び最低点をつけた委員を除く残りの委員の採点を合計した点数を集計する。 ・最低制限基準に満たない団体は、選定されない。 ・評価結果の公表方法については、ホームページで公表する際に委員名を伏せる。 ・応募書類等、評価で使用了資料は、第2回選定委員会終了後に回収する。 3 事務局から応募書類による調査結果について (1) 暴力団関係者の有無 神奈川県警への照会の結果、排除措置対象に該当しない旨の回答があった。 (2) 市税滞納の有無 横浜市財政局への照会の結果、「滞納者なし」の回答があった。
-----	--

	(3) 財務状況評価の結果 財務分析結果報告書について説明した。
	4 応募団体の面接審査
	(1) 横浜市二ツ橋第二地域ケアプラザ
	ア プレゼンテーション
	団体から、事業計画、重点プレゼンテーション項目等について説明
	イ 主な質疑応答
	(委員) 職員配置及び育成についてお聞きしたい。 今期指定管理中に欠員が長期間あったようだが、欠員が生じた場合に補充する目標について具体的に教えてほしい。
	(団体) 職員の人材確保は課題と捉えている。主任ケアマネジャーの確保が難しいのが現状である。地域包括支援センターや地域ケアプラザがどのような業務を行っているのかを有資格者に伝えることが大事であるため、就職相談会・体験会を実施している。採用できない場合は、法人として応援体制を組んで、地域の住民に不便がないように対応している。
	(委員) プレゼンテーションの中での地域の課題として、駅から離れた地域があることが挙げられていた。移動販売・シャトルバスの運営母体はどこか。出前講座の会場はどんなところで実施しているのか。
	(団体) 移動販売は2つの地区で実施している。相沢原団地では週2回、ダイエーが実施しており、丸4年続いている。 昨年の9月から正式に始まった楽老峰自治会では、週1回相鉄ローゼンが実施している。地域からの要望があって地域ケアプラザが調整・誘致した。 出前講座はせや活動ホームを借り、土日を実施している。また、地域のサロンに招待してもらって、出前講座、フレイル予防、熱中症予防の講座など、健康増進のサポートを行っている。 病院のシャトルバスについては、地域ケアプラザの主導ではないが、ふたつ橋病院の送迎バスが運行につながっている。運行ルートが地域のニーズに合致していないとのことで、課題も上がっており、検討が必要との認識である。
	(委員) 事件、事故の防止体制、緊急時の対応について聞きたい。急病時の対応なども含めてどのように対応するのかを含めて回答してほしい。
	(団体) 地域ケアプラザを利用している方の緊急対応については、事故対応マニュアルも整備しており、所内で共有している。非常勤職員でも対応

	できるように常時から読み合わせを実施している。発災時の対応については、BCPも整備している。法人で発災時の対応方法を作成し、訓練をしている。 被災を経験した方からの話を聞く機会を法人内でも設けており、それをもとにしてBCPや防災マニュアルを更新し、対応できるようにしている。 (委員) 意見箱を設置しているとのことだが、どのくらい意見が来ているか。 (団体) 意見箱に今年度は意見が出ていないが、年に1回利用者アンケートを実施している。 具体例としては、地域の方が自由に使える部屋に、小さい子ども用のイスが欲しいとの要望をいただいて、1台設置した。 ウ 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 ・事務局より本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。 ・事務局より前期実績報告書について説明。 ・事務局より財務分析結果報告書及び、嶋貫委員からの意見について説明。 (2) 横浜市阿久和地域ケアプラザ ア プレゼンテーション 団体から、事業計画、重点プレゼンテーション項目等について説明 イ 主な質疑応答 (委員) 介護予防支援事業について質問したい。プランナーが退職になったと記載があるが、状況に変わりはないか。 要支援の方で介護が必要な方について、居宅介護支援事業者案内して、ケアマネジャーを引き受けてもらえる状況か。 (団体) 潤沢ではないが、阿久和地区には大きな居宅介護支援事業者がない代わりに、皆で連携を深めながら対応している。また、地域ケアプラザの居宅介護支援事業部門の主任ケアマネジャーを2名体制としているので、そこまで待たせるような状況ではない。 (委員) 事業計画書の運営ビジョンの中に、複雑な課題が多いとの記載があったが、それはどのような課題を指しているのか、またそれに対し、どのように対応しているのか。 (団体) いわゆる80-50問題に該当する方で、お子さん側に精神疾患を抱えているような方がいる。制度の間で、介護保険のサービスも障害のサービスも受けられないような方がいる。 四機関連絡会（区役所、基幹支援センター、生活支援センター、地域ケアプラザ）というものを定期的開催しており、四機関で情報を共有し、支援ができる方には支援をしている。また、ケアマネジャーに
--	---

	も障害の認識を持ってもらえるようにケアマネジャーの支援も行っている。 (委員) 決算書を確認して、借入れが多いという印象がある。今後の借入れに対する対策についてお聞きたい。 (団体) 法人全体として借入れが多いが、法人本部で対策していく。今年度厳しい状況がある中で、資産を含めて今後返済できるようにしていきたいと検討している。 (委員) 利用者ニーズや要望についてお聞きたい。利用者アンケートをとっているということで、長く指定管理を受けているとニーズも変わってきていると思うが、どんな要望が来ているか。 (団体) 冷房の効きが悪いとか、施設利用に関することで要望をもらうことがある。デイサービスについては食事の内容など。改善する必要があると主体的に行っている。 (委員) 地域ケアプラザを利用している方の要望は耳に入ってくると思うが、利用していない地域の方のニーズをどのように拾っていかうと考えているか。 (団体) 地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーターが地域に出向いて「地域ケアプラザはどのような機能をもっているのか」という説明をするようにしている。困ったことや介護のことなどで相談がある場合は、誰でもいいので声をかけてもらえれば、「適した職種のものが出向いて話を聞く」といったように、地域の隅々まで地域ケアプラザはどのようなところであるかを知ってもらえるように努力している。 (委員) 地域福祉保健計画に対する地域ケアプラザの関わりに変化があるか。 (団体) 区計画は事務局の役目を担っており、地域ケアプラザから見た地域の姿を計画に反映できるように取り組んでいる。 住民の福祉に関する考え方も年々変わってきており、意見を具体的に言うような住民も出てきている。そのあたりの意識の変化を肌感覚で感じている。 地区別計画については、策定と推進に携わっているので区計画への取組をとおして学んだことを地区別計画に活かし、地区別計画で感じたことを全域計画に生かすなどの橋渡しも行っている。 ウ 市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 ・事務局より本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。 ・事務局より前期実績報告書について説明。 ・事務局より財務分析結果報告書及び、嶋貫委員からの意見について説明。
--	--

	(3) 横浜市中屋敷地域ケアプラザ ア プレゼンテーション 団体から、事業計画、重点プレゼンテーション項目等について説明 イ 主な質疑応答 (委員) 事業計画書の最初に、当事者の視点を大切にしているとあるが、そこを中心に5職種の連携について教えていただきたい。 (団体) 各職種が、地域でのサロンやイベント等に伺って、地域の様子を聞き、会議体にとらわれず、日々の会話の中で、密に情報共有を行っている。共催としなくてもお互いに参加する中で、参加者にお声がけすることにより地域ケアプラザ全体で地域全体と関わられるようにしている。 (委員) 災害について、職員の始業前に大規模災害が発生した場合に、行きたくても行けない場合の対応についてどうか。 (団体) 全員が参集できるとは考えていないが、自分自身や身の安全を確認したうえで、近くのものから参集する。BCPのマニュアルを活用した対応や区からの要請に応じた福祉避難所の開設を行っていく。長期化した場合には先に来たものから休ませるなど、ローテーションを組んでいく。 (委員) 総合相談について、繁忙時におけるフォロー体制について教えていただきたい。 (団体) 地域包括支援センターが中心となるが、専門の職員がいなければ、事務職員等が対応し、「何に困っているか」をきちんと聞き、相談者の希望に応じて対応している。 (委員) GREEN×EXP02027について、開催地とも隣接している中で送迎等において、弊害も出ると思うが、今後の展望等についてお聞きしたい。 (団体) 住民も期待だけでなく、不安も抱えているので、そこをしっかりと聞いて対応していきたい。地域の補完的な役割も担っていきたいので、地域の声を聴きながら地域と一緒に進めていきたい。 ウ 市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 ・事務局より本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。 ・事務局より前期実績報告書について説明。 ・事務局より財務分析結果報告書及び、嶋貫委員からの意見について説明。 (4) 横浜市中瀬谷地域ケアプラザ ア プレゼンテーション 団体から、事業計画、重点プレゼンテーション項目等について説明 イ 主な質疑応答
--	--

	(委員) 地域の特色として地域活動への参加率は高いものの、高齢化やメンバーの固着が課題となっているが、今後どのように新しい人に参加を促していくのか。 (団体) 地域活動やボランティアのハードルは高いので、趣味活動の延長となるようなガーデニングや、カフェのようなボランティアに参加していただき、そこから地域活動に繋げていきたいと考えている。 (委員) 施設が建てられてから 23 年が経ち、老朽化が進んでいると思うが、近年の事象や今後想定されるものはあるか。 (団体) 近年では空調設備の故障や、エレベーターの非常用バッテリー劣化などが発生している、今後は外壁の劣化などもある。区とも協議しながら進めている。 (委員) 高齢者が多い中で、メールやオンライン等の対応についても記載があるが、高齢者がオンライン対応できるような支援等を行っているのか。現時点ではウェブ会議を用いた相談はないが、テレビ電話を活用した (団体) 親族の同席などの実績はある、相談においては直接会って行うのが大切だとは考えているが、オンライン対応していることの周知は行っている。 (委員) 施設の利用促進について、各室の利用率の記載があるが、具体的な数値の目標値はあるのか。 (団体) 一概に適正値が測れないので、前年の利用率を超えるように取り組んでいる。特に調理室は 20% 台と低いので、30% を目指している。その他の諸室については現在の利用率を維持していきたいと考えている。 (委員) 運営の課題、施設の老朽化の話もあったが、現状の課題について教えていただきたい。 (団体) 人員的にはベテランの職員配置がされていることもあり、課題には感じていない。 一方で老朽化については 2 週間に一度ぐらいの頻度で何かしらの故障が生じているので、区に相談しながら対応している。 (委員) 長年運営している中で、地域や利用者ニーズについてどのような変化が見られるか、また、どのように対応するのか。 (団体) 市営住宅が多くある中で、変化としては高齢化が進み、高齢者世帯が多くなっている。一方で市営住宅については安価で住むことができるので、精神疾患が想定される 40～50 代の入居者が増えている。区役所含めた障害の関係機関と意見交換する場を設けて情報共有を行ってきたいと考えている。 ウ 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 ・事務局より本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。
--	---

- ・事務局より前期実績報告書について説明。
- ・事務局より財務分析結果報告書及び、嶋貫委員からの意見について説明。

5 意見交換（次期選定に向けた改善点）

- ・5段階評価における基準が、事務局で作成したものはハードルが高く感じてしまうので、次回以降については表記方法に注意いただきたい。
- ・指定管理期間が進んでいる中で、人員や施設老朽化等、法人も厳しさが増しているため、その部分を勘案していく必要もある。一方で、高い点数によって法人がそれで満足しないような方法についても検討いただきたい。
- ・具体的な目標数値などを法人に提出させると、指定管理期間中にそこを意識してしまうので、難しいかもしれないが、そこは採点対象外とするなどして具体性・個別性がわかるようにしてほしい。
- ・質疑応答 10 分というのが短いので、長めにとって、質問がなければ切り上げるなどの対応を検討していただきたい。
- ・提案書から地域の独自性が見えにくいこともあるので、プレゼンテーションについては総まとめではなく、特徴的なところを教えていただきたい。
- ・事業計画書においてもプレゼンテーションにおいても、自分たちの地域ケアプラザの売り・良いと思っているところ、地域性を加えて運営していることを教えてほしい。
- ・地域の代表者で出てきている委員と、専門の委員とで視点が違うので、それぞれの立ち位置での採点基準や、委員の種別に応じて、採点する部分を分けることができないのか。
- ・紙ではなくパソコンやスマートフォンを活用した選定にできないのか。
- ・指定管理者になることがゴールになっているのではないかと。しっかり委員からの意見を踏まえて、次期指定管理を行えるようにしてほしい。他の指定管理は競争相手がいて、法人も獲得に向けて努力をするが、地域ケアプラザについては、応募法人もいなく、現状維持でも問題ないように法人が捉えてしまうのではないかと。5 年間の中で指摘事項にどうやって対応しているのかを示していく必要があるのではないかと。

6 審査結果と講評

応募団体から提出された応募書類及びプレゼンテーション等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

(1) 横浜市二ツ橋第二地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人横浜市社会 福祉協議会	2,126／3,000 点	2,070／1,656 点
次点候補者	なし		

(審査講評)

- ・地域性がなかなか見えてこない、内容が整理されているが一方で、独自性が見えにくい。
- ・大きな法人なので安定した経営が期待できる。人員について法人でカバーできる。他区と比較した運営も可能になっていると思うのでそこを生かしていただきたい。
- ・スケールメリットを生かして、地域で活躍してほしい。
- ・質の高いサービスについて区民に具体的に示しながら進めていただきたい。

(2) 横浜市阿久和地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人湘南遊愛会	2,119／3,040 点	2,126／1,680 点
次点候補者	なし		

(審査講評)

- ・具体性のある記載が多く、他団体と比較してわかりやすかった。一方で、財務状況や事故の発生状況に懸念があるので、その解消をしていただきたい。
- ・財務に不安が残る一方で、期待は高いと思うので、計画的な運営を行っていただきたい。
- ・住民だけでなく、働く人のワークライフバランスにも目を向けた運営を行っていただきたい。

(3) 横浜市中屋敷地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人誠幸会	2,164／3,040 点	2,129／1,680 点
次点候補者	なし		

(審査講評)

- ・基本に忠実でやるべきことをしっかりやっている印象がある。
- ・地域ごとの特性も理解できており、多世代の働きかけや地域を巻き込んだ活動ができています。今後は職員のワークライフバランスについても意識していただきたい。

	(4) 横浜市下瀬谷地域ケアプラザ												
	<table><tr><td></td><td>応募団体</td><td>評価得点／満点</td><td>最低制限基準 得点／基準点</td></tr><tr><td>指定候補者</td><td>社会福祉法人同塵会</td><td>2,111／2,960 点</td><td>2,075／1,632 点</td></tr><tr><td>次点候補者</td><td>なし</td><td></td><td></td></tr></table>		応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点	指定候補者	社会福祉法人同塵会	2,111／2,960 点	2,075／1,632 点	次点候補者	なし		
		応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点									
	指定候補者	社会福祉法人同塵会	2,111／2,960 点	2,075／1,632 点									
	次点候補者	なし											
	(審査講評)												
	・有給休暇の取得に力を入れているのは、非常に好感が持てる。 ・地域との関係性の深さがうかがえる。地域で活躍されている方が固着化していると思うので、更なる担い手の発掘に力を入れていただきたい。 ・スケールメリットを生かして、法人内での横の共有を進めて、良い事例等を生かしていただきたい。												
	各応募団体の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人横浜市社会福祉協議会他を指定候補者として選定することを決定する。												
	7 横浜市二ツ橋地域ケアプラザ指定管理者の公募について												
	(1) 公募要項その他の関係書類の内容												
・資料に基づき公募要項のスケジュール等について事務局案を説明した。 ・評価基準及び最低制限基準、審査方法及び最低制限基準、公募条件については前回公募から変更しないことを説明した。 ・公募要項その他の関係書類の内容について事務局案のとおり決定した。													
(2) 第3回選定委員会について													
・事務局から、事務局案について説明した。 ・第3回選定委員会の内、応募団体の面接審査を非公開とすることを決定した。													
8 審査結果と講評													
(1) 本委員会の議事録作成について													
事務局から、事務局で作成後、委員長に御確認いただき、瀬谷区ホームページに掲載予定であることを説明。													
(2) 選定委員の委嘱期間の確認													
令和6年11月1日から令和8年10月31日までの2年間で委嘱期間であることを確認した。													
資料	1 資料												
・	(1) 第2回瀬谷区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会次第												
特記事項	(2) 本日のスケジュール												

	(3) 前回議事録 (4) 採点の流れ (5) 横浜市瀬谷区二ツ橋地域ケアプラザ指定管理者公募要項 (案) (6) 横浜市瀬谷区地域ケアプラザ指定管理者応募様式等 (案) 2 特記事項 特になし
--	---